

継体期の政治変動と乙訓の古墳文化

大阪大学大学院文学研究科教授 福永伸哉

2011年9月11日



主催 乙訓の文化遺産を守る会

1 古墳時代政治史のとらえ方

首長系譜研究と乙訓地域

2 乙訓地域の古墳時代勢力図

前期（3世紀半ば～4世紀）向日勢力の優位

中期（5世紀）長岡勢力の優位

後期（6世紀）向日勢力と長岡北部勢力の台頭

物集女車塚古墳・井ノ内稲荷塚古墳・井ノ内車塚古墳

3 継体大王の登場と6世紀の政変

権力基盤としての淀川流域

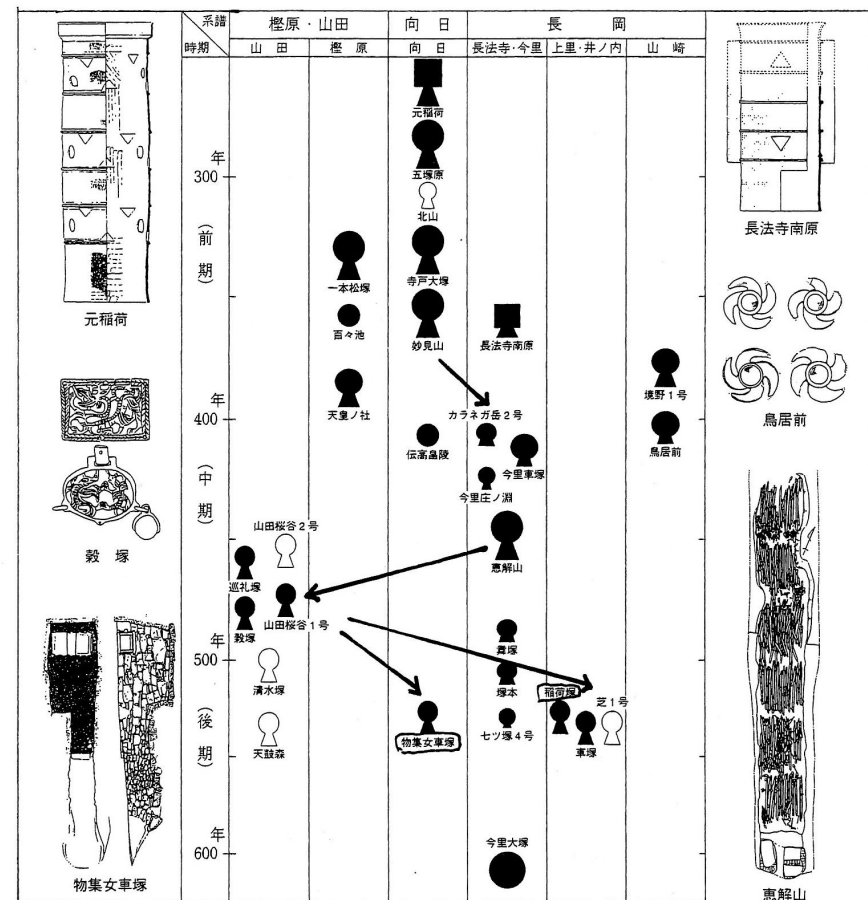
畿内北部の支援勢力 川西市勝福寺古墳（畿内型横穴式石室＋尾張型埴輪）

4 継体の政権と国際背景

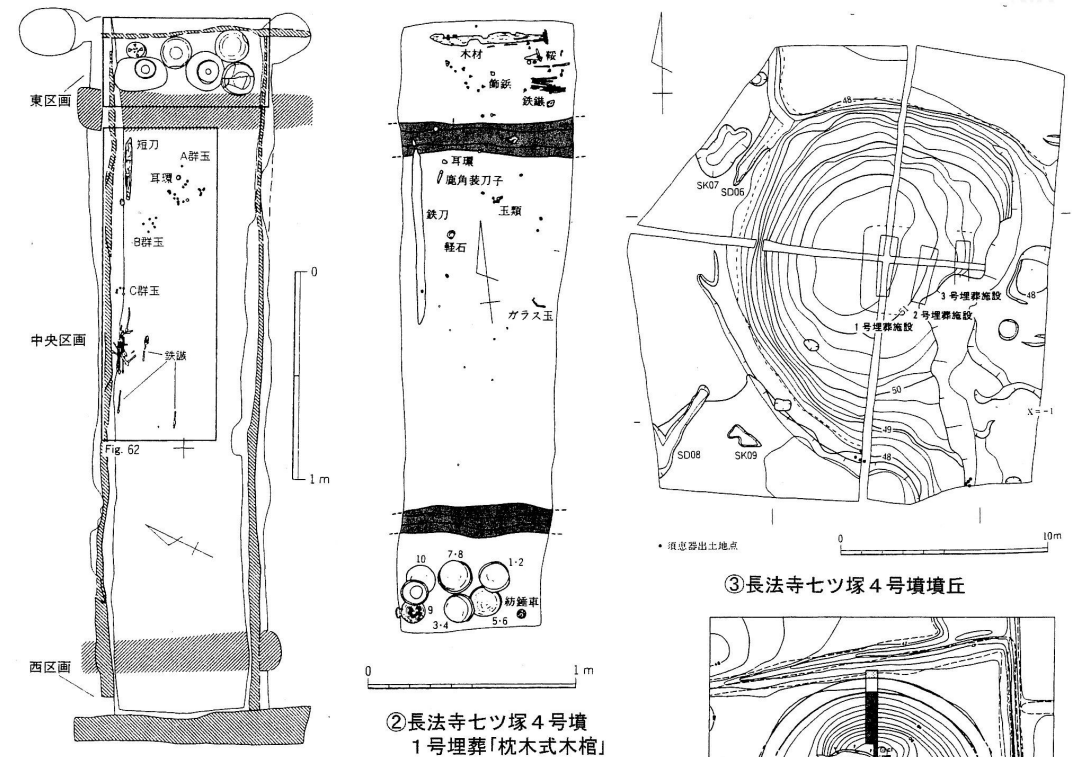
6世紀前葉の百済と倭一武寧王と継体大王一

韓国榮山江流域の「前方後円墳」

隅田八幡宮癸未年人物画像鏡の製作背景

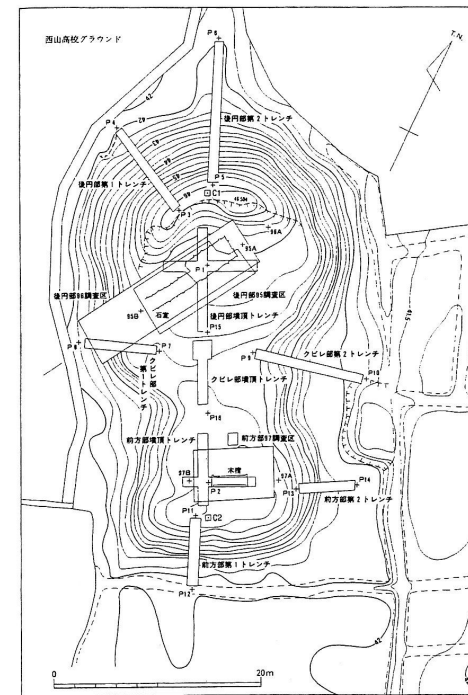


①京都府乙訓地域の首長系譜の変遷（福永2005）

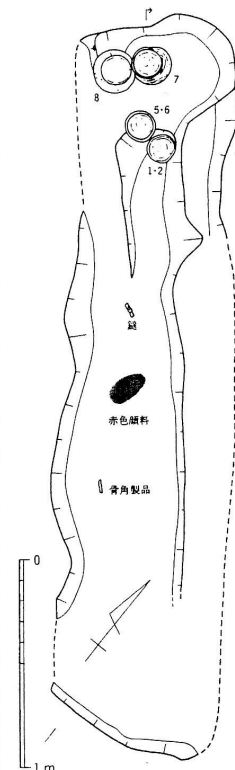


①井ノ内稲荷塚古墳
前方部「枕式木棺」

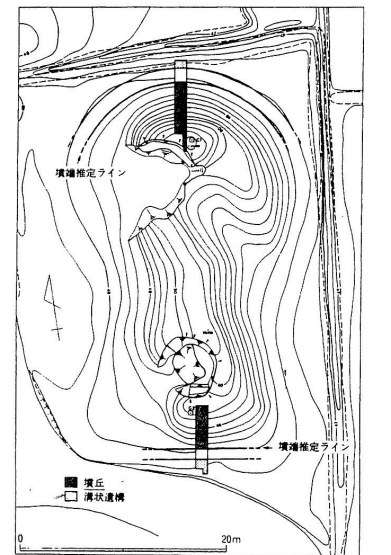
②長法寺七ツ塚4号墳
1号埋葬「枕式木棺」



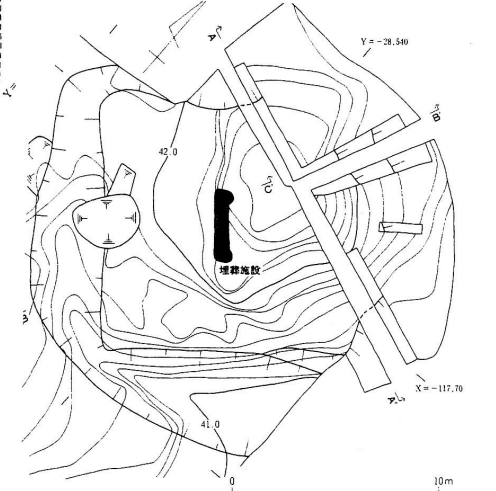
④井ノ内稲荷塚古墳墳丘



⑤井ノ内1号墳木棺

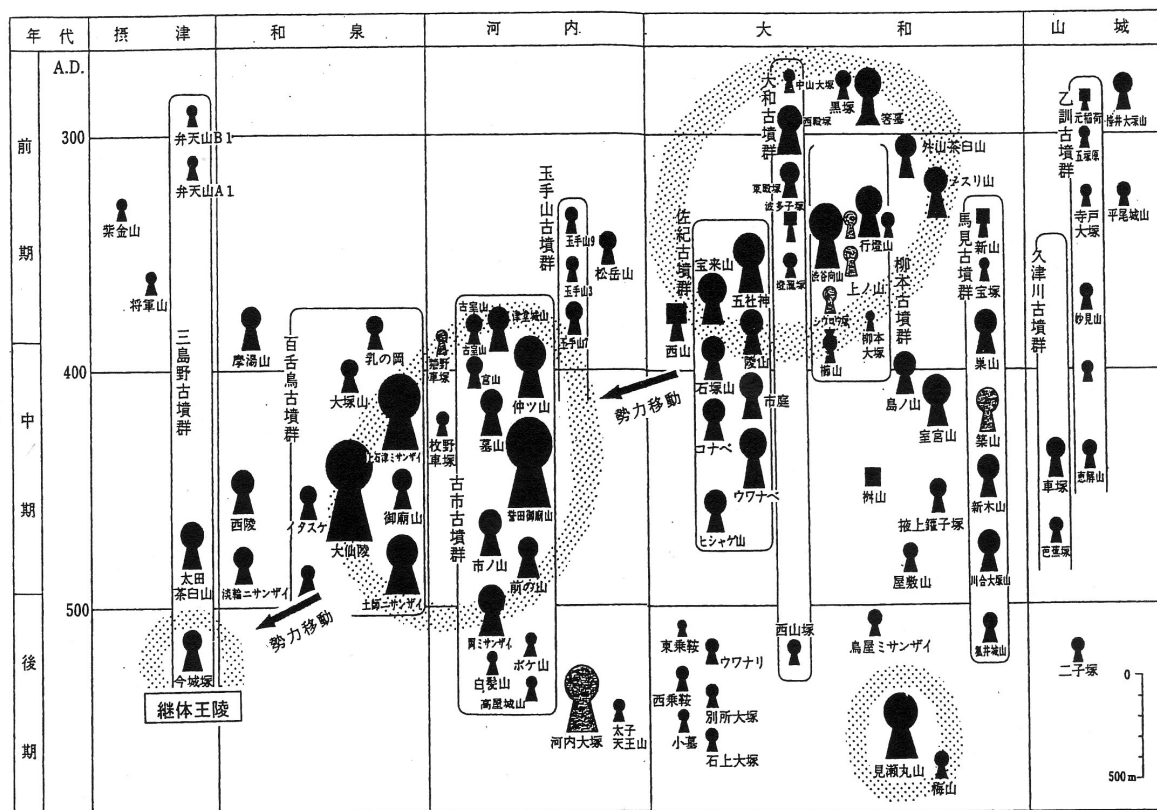


⑥井ノ内車塚古墳墳丘

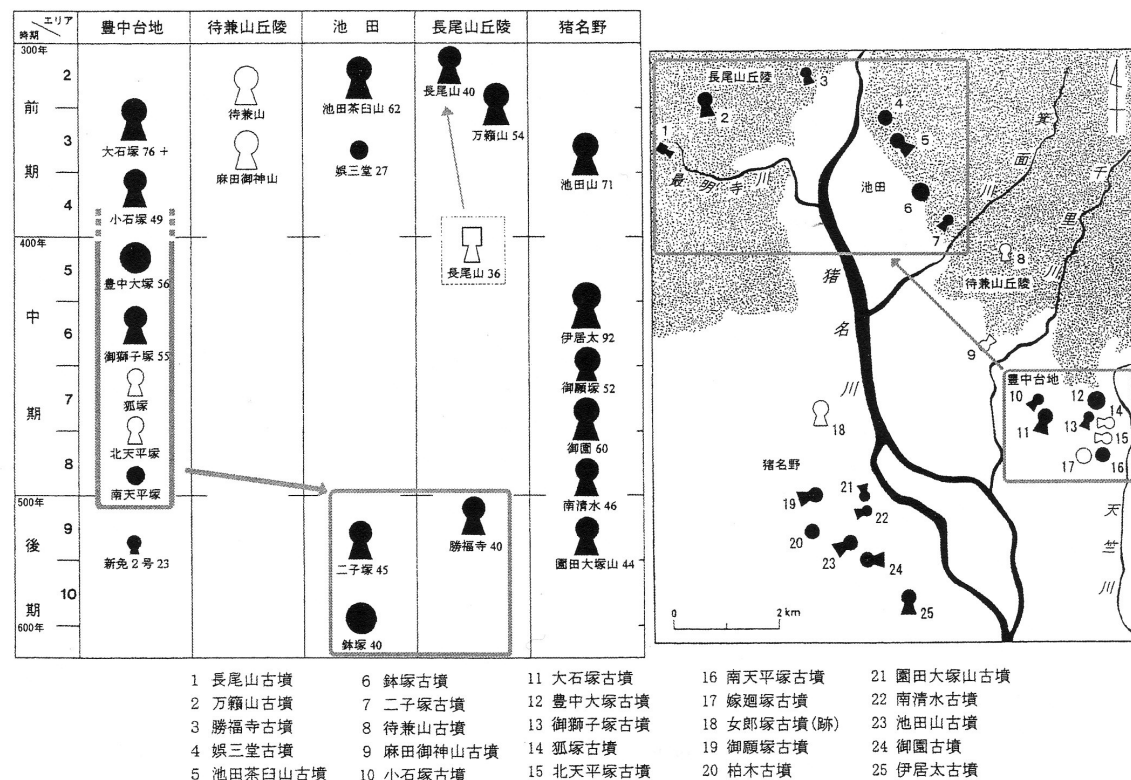


⑦井ノ内1号墳墳丘

長岡京市域北部の古墳諸例(各報告書より)



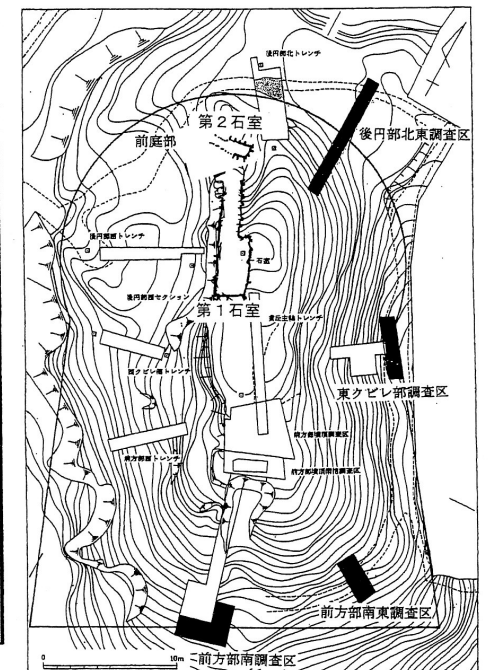
①畿内の主要古墳の推移 (白石1989改)



②猪名川流域の主要古墳の分布と変遷 (白抜きは時期未確定、福永2004)

西暦	和暦	天皇	日本
392	継体元	継体	
393	安閑元	安閑	
394	宣化元	宣化	
395	宣化二		
396	宣化三		
397	宣化四		
398	宣化五		
399	宣化六		
400	宣化七		
401	宣化八		
402	宣化九		
403	宣化十		
404	宣化十一		
405	宣化十二		
406	宣化十三		
407	宣化十四		
408	宣化十五		
409	宣化十六		
410	宣化十七		
411	宣化十八		
412	宣化十九		
413	宣化二十		
414	宣化二十一		
415	宣化二十二		
416	宣化二十三		
417	宣化二十四		
418	宣化二十五		
419	宣化二十六		
420	宣化二十七		
421	宣化二十八		
422	宣化二十九		
423	宣化三十		
424	宣化三十一		
425	宣化三十二		
426	宣化三十三		
427	宣化三十四		
428	宣化三十五		
429	宣化三十六		
430	宣化三十七		
431	宣化三十八		
432	宣化三十九		
433	宣化四十		
434	宣化四十一		
435	宣化四十二		
436	宣化四十三		
437	宣化四十四		
438	宣化四十五		
439	宣化四十六		
440	宣化四十七		
441	宣化四十八		
442	宣化四十九		
443	宣化五十		
444	宣化五十一		
445	宣化五十二		
446	宣化五十三		
447	宣化五十四		
448	宣化五十五		
449	宣化五十六		
450	宣化五十七		
451	宣化五十八		
452	宣化五十九		
453	宣化六十		
454	宣化六十一		
455	宣化六十二		
456	宣化六十三		
457	宣化六十四		
458	宣化六十五		
459	宣化六十六		
460	宣化六十七		
461	宣化六十八		
462	宣化六十九		
463	宣化七十		
464	宣化七十一		
465	宣化七十二		
466	宣化七十三		
467	宣化七十四		
468	宣化七十五		
469	宣化七十六		
470	宣化七十七		
471	宣化七十八		
472	宣化七十九		
473	宣化八十		
474	宣化八十一		
475	宣化八十二		
476	宣化八十三		
477	宣化八十四		
478	宣化八十五		
479	宣化八十六		
480	宣化八十七		
481	宣化八十八		
482	宣化八十九		
483	宣化九十		
484	宣化九十一		
485	宣化九十二		
486	宣化九十三		
487	宣化九十四		
488	宣化九十五		
489	宣化九十六		
490	宣化九十七		
491	宣化九十八		
492	宣化九十九		
493	宣化一百		

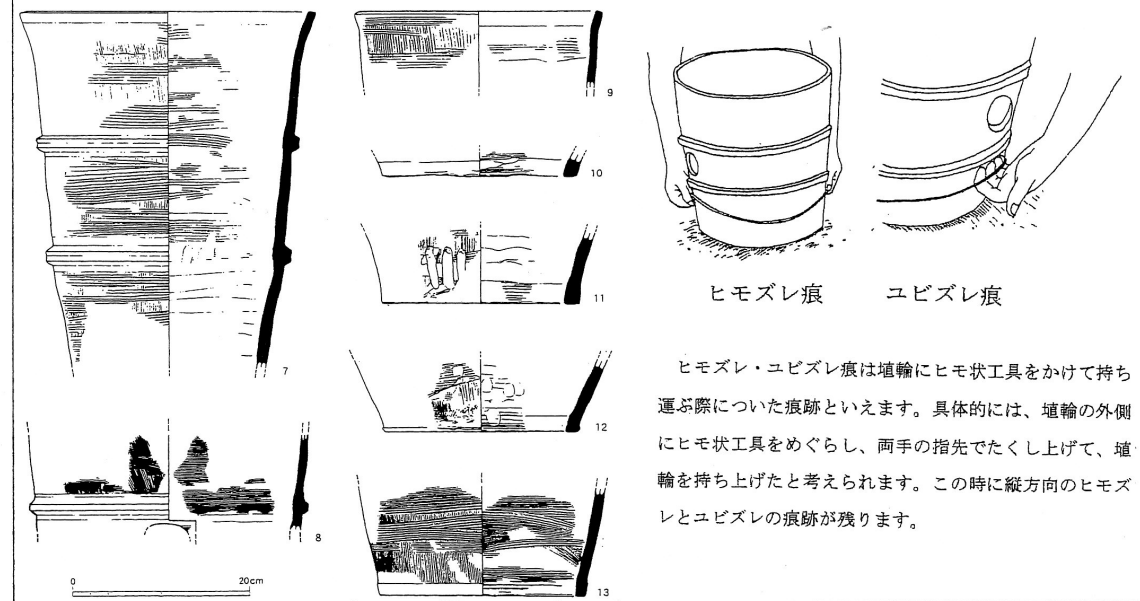
①継体朝の略年表 (吉村1991)



②川西市勝福寺古墳の墳丘と調査区 (調査団2007)

当古墳出土の普通円筒埴輪にはいくつかの特徴が認められます。まず昨年度出土の埴輪と同様に、外面に回転力を利用したヨコハケを施した普通円筒埴輪が出土しました。また底部付近に横方向のケズリ調整がある普通円筒埴輪も出土しています。今年度新たに確認できた特徴としては底部底面に見られる段状の痕跡と、底部外面付近に認められるヒモズレ・ユビズレ痕があげられます。

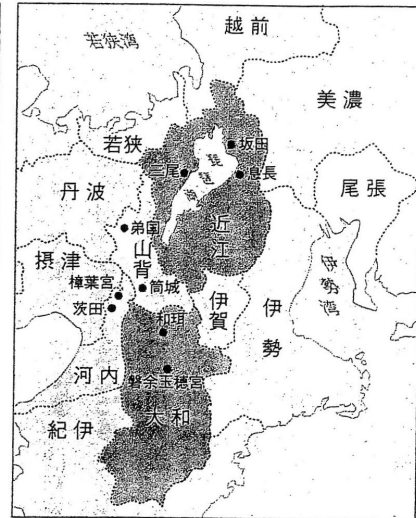
こうした一連の特徴をもつ普通円筒埴輪は、尾張地域に多く認められます。したがって、当墳の埴輪製作にあたっては、尾張地域との何らかの関係があったと考えられるでしょう。



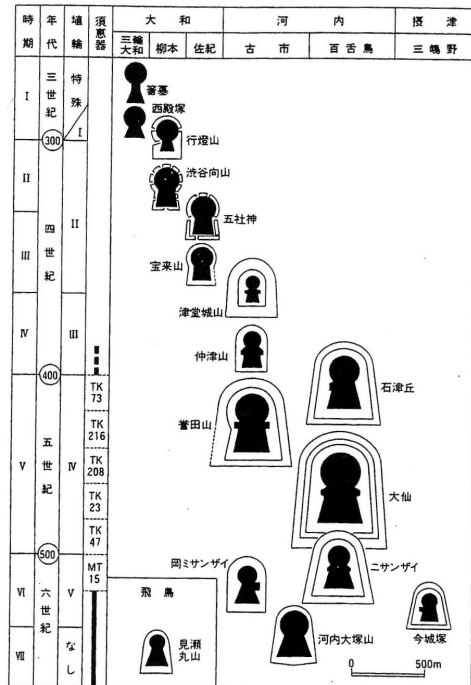
③川西市勝福寺古墳の「尾張型」円筒埴輪 (調査団2003)

皇	妃	父	出身地
皇后 妃	白香皇女 手日子媛 稚子媛 広媛 麻績娘子 関媛 倭媛 黄媛 広媛	仁賢 尾張連草香 三尾君角折(兄) 坂田大跨王 息長真手王 茨田連小望 三尾君堅城 和珥臣河内 根王	一 尾張 近江(三尾) 近江(坂田) 近江(息長) 河内(茨田) 近江(三尾) 大和(和珥) 近江(坂田)

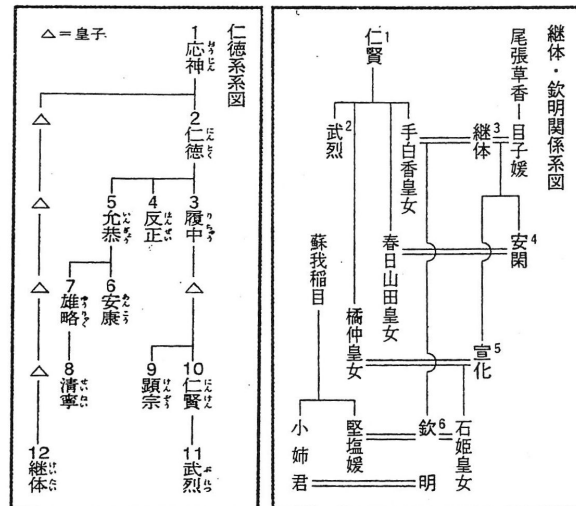
①継体大王の皇妃とその出身地(吉村91)



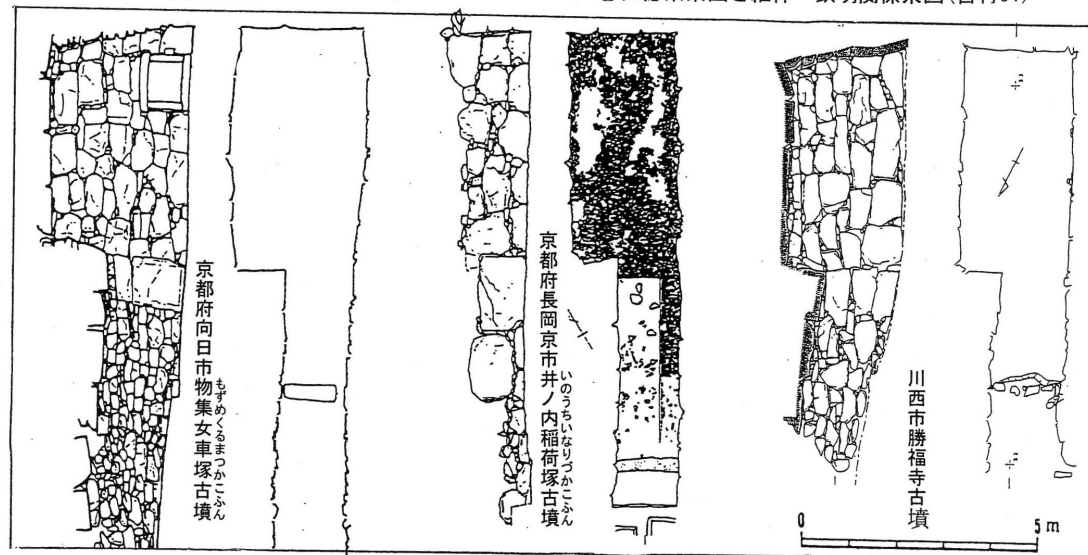
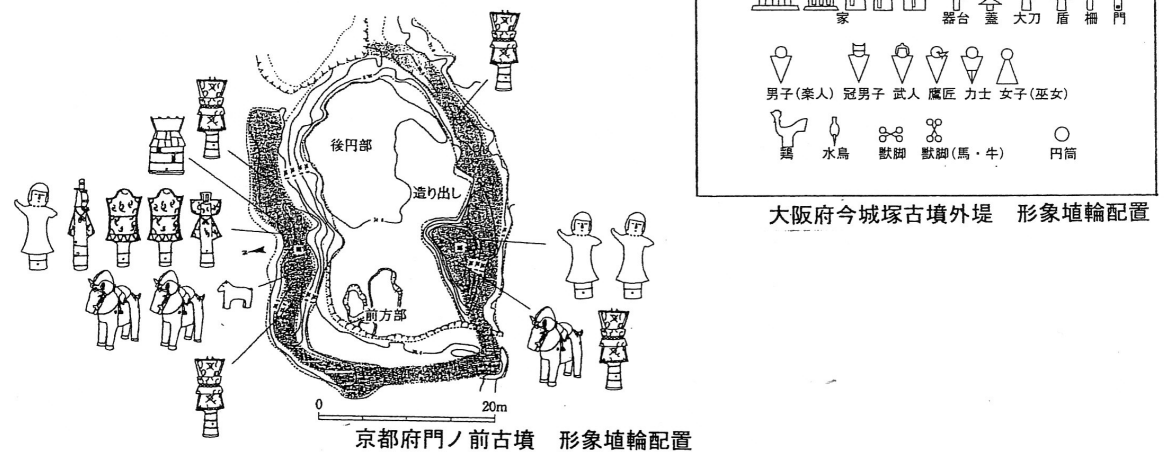
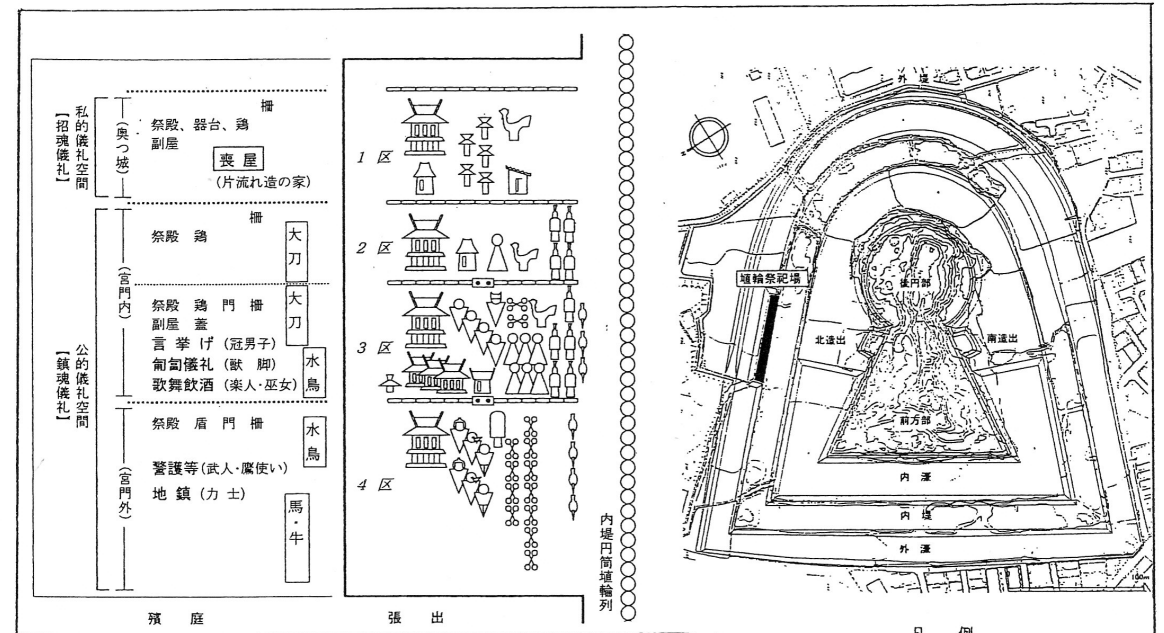
②継体大王関係地図(吉村91)



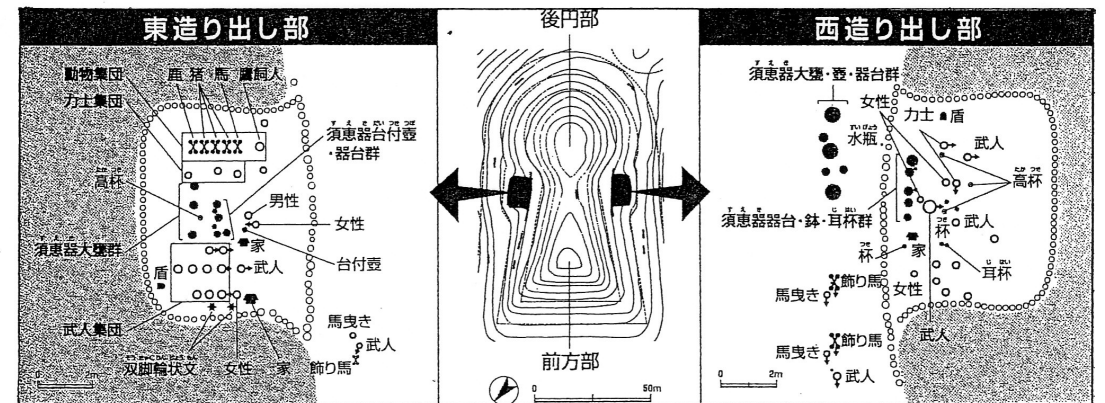
③大王陵の推移(笠井95)



④仁徳系系図と継体・欽明関係系図(吉村91)

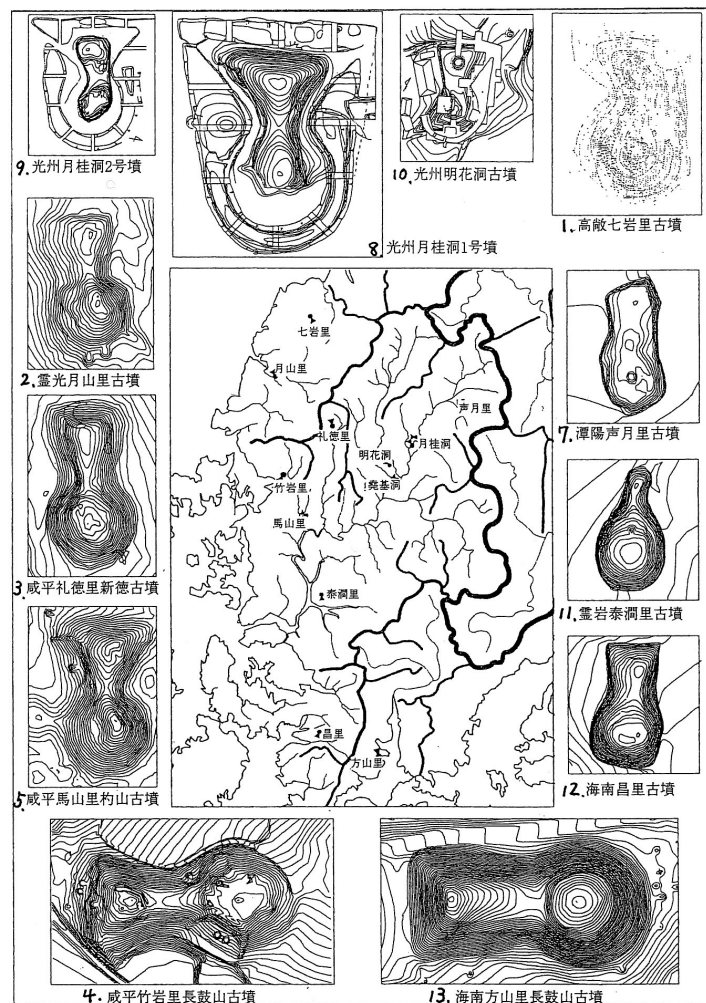


⑤淀川・猪名川流域のよく似た横穴式石室(6世紀前葉)

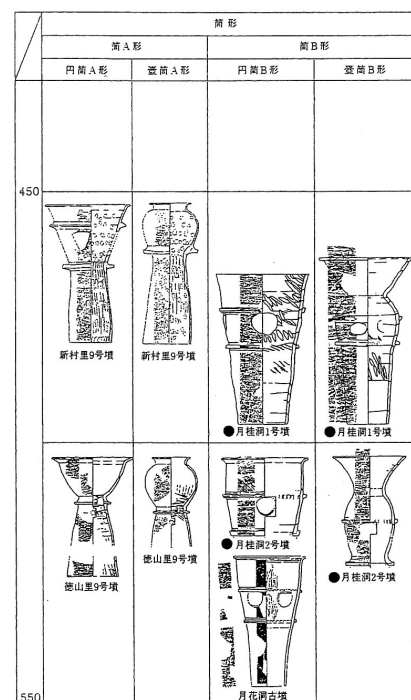


和歌山県井辺八幡山古墳 形象埴輪配置

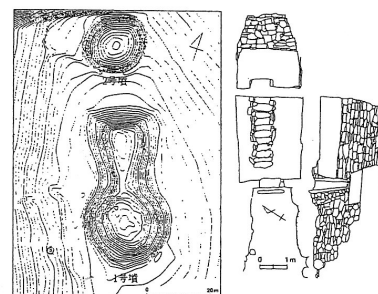
倭の6世紀の埴輪祭祀(高槻市2004、城陽市1998、歴博2003いずれも改)



①韓半島「長鼓墳」分布と墳形(林2005改)



②円筒形土器の変遷図(林2005改)



③新徳古墳の墳丘と横穴式石室(朴2003改)

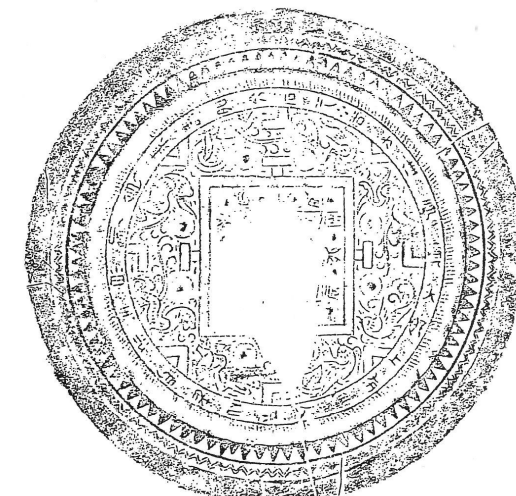
名称	所在地	規模(全長)	埋葬施設	埴輪状土製品の出土	主な副葬品
1 七岩里古墳	全羅北道高敞郡七岩里	53m	未発掘	—	未発掘
2 月溪(月山里)古墳	全羅南道靈光郡月山里	41m	未発掘	—	未発掘
3 新徳古墳	全羅南道咸平郡礼德里	51m	横穴式石室	—	鉄製武器・武器類、鉄製刀子、金銅冠、腰、金製耳飾など
4 長鼓山古墳	全羅南道咸平郡竹岩里	70m	未発掘	○(試掘)	未発掘
5 杓山古墳	全羅南道咸平郡馬山里	46m	未発掘	—	未発掘
6 古城里古墳(月城山 1 号墳)	全羅南道潭陽郡古城里	24m	未発掘	—	未発掘
7 聲月里(月田)古墳	全羅南道潭陽郡聲月里	38m	未発掘	—	未発掘
8 月桂洞 1 号墳	全羅南道光州市	45m	横穴式石室	○(周濠内、石見型木製品も出土)	金製耳飾、鉄鏃、土器片など
9 月桂洞 2 号墳	全羅南道光州市	34m	横穴式石室	○(周濠内)	鉄製刀子、ガラス玉、土器片など
10 明花洞古墳	全羅南道光州市	33m	横穴式石室	○(くびれ部に列をなして出土)	鉄鏃、胡録金具など
11 チャラボン(泰潤里)古墳	全羅南道靈岩郡泰潤里	35m	竪穴式石室	—	鉄製武器類、鉄製農具、金製耳飾、ガラス玉、器類、馬骨など
12 マルムドム古墳	全羅南道海南郡龍頭里	40m	未発掘	—	未発掘
13 長鼓峰古墳	全羅南道海南郡方山里	76m	横穴式石室	—	札甲片、小玉、金銅製品など

④韓半島「長鼓墳」一覧(杉山・中條2006改)

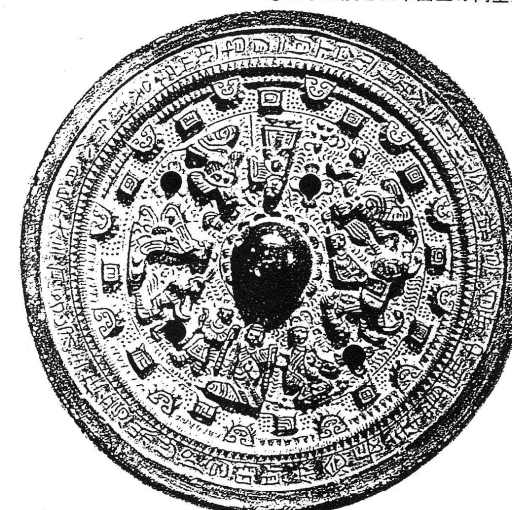


武寧王陵鏡(17.8 cm)

①武寧王陵と日本出土の同型方格規矩四神鏡(森下2004/国立公州博2004)



日本出土鏡



②隅田八幡宮人物画像鏡



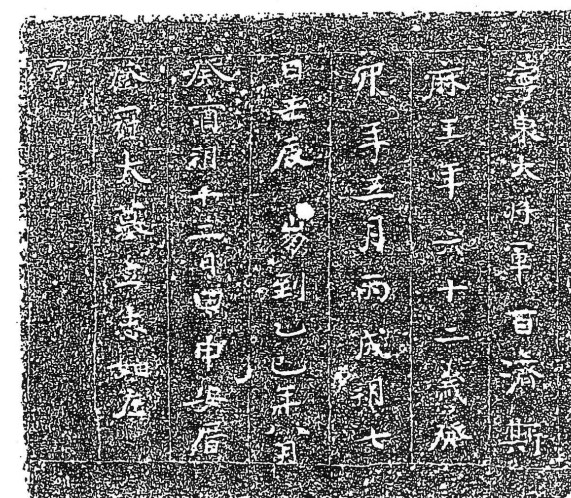
③神人歌舞画像鏡(八尾市郡川)

隅田八幡宮に伝来する半円方形帯の人物画像鏡で、出土地は詳かでない。東京・狛江市亀塚古墳出土の鏡を原型とする仿製鏡で、鏡背の外区に千支年や人名、地名などを伴う銘文がある。古く江戸時代から知られていたが、銘文の解説が本格的に試みられたのは、大正初年からである。

(銘文) ※は作の書き誤りか
 癸未年八月日十大王男弟王在憲榮沙加宮時麻念長奉遣開中費直穰人今州利二人等取白上同二百早所此竟
 (訓読)
 癸未の年八月、日十大王の年、男弟王、意榮沙加の宮に在し、時、斯麻、長奉せんと念じ、開中(河内)の費直と穰人今州利の二人等を遣わし、白上銅二百貫を取り、此の鏡を作る。

④人物画像鏡銘文(高槻市2005改)

「癸未年」銘人物画像鏡 一面 東京国立博物館
 和歌山県橋本市隅田町・隅田八幡宮伝来 径一九・九



⑤武寧王陵墓誌(国立公州博2004)